

全国各聾史研究団体の便り

富山聾史研究グループ

松村精一郎校長のお墓清掃作業は今年で10回目

8月1日（土）、富山聾史研究グループの定期的な行事として、ろう者校長の松村精一郎氏の墓参りを行いました。

今回は、信濃聾史研究倶楽部と近畿聾史研究グループから6人が参加されました。南砺市へ行っ

頭を下げました。

次に午後から高岡市へ向かいましたが、雨がひどく降ってしまい、何とか無事に高岡寺に到着しました。約束した住職さんにお会いし、耳地僧ま

て、まず松村家のご主人に挨拶をしました。生家の中へ入れて頂き一つひとつ丁寧な説明を受け、大変感動しました。

それから別のところある松村精一郎氏の墓前へ行って手を合わせたあと、すぐに掃除を開始、汗を流し清々しい気持ちになりました。綺麗な花をいっぱい備えて、参加者全員で手を合わせながら

で案内して頂き、前で手を合わせました。

最後に、住職さんと参加者全員で合同記念写真を撮り、一日を締めました。



松村校長の墓前に手を合わせる橘代表



松村精一郎校長の墓と記念撮影

■ 日本聾史学会『聾史会報』第26号（2009年10月）



【参加者】

富山聾史研究グループ：代表 橘 勇一（日本聾史学会役員）

松本ろう同窓生：宮下豊輔、丸山宗司、丸山幸子、内田博幸（日本聾史学会役員）

長野ろう同窓生：大塚吉晴（長野ろう同窓会長）